2026 11/2-11/15
第45・46週

愛媛県感染症情報

2026年11月20日（2026No.22）
愛媛県感染症情報センター
愛媛県保健福祉部健康衛生局健康増進課
愛媛県立衛生環境研究所
https://www.pref.ehime.jp/

愛媛県エイズ予防週間のお知らせ　「あなたの話を聞かせてください」

12月1日（火）～ 12月7日（月）は「愛媛県エイズ予防週間」です。県内各保健所では平日に無料匿名でのHIV抗体検査とエイズ電話相談を実施しています。また期間中は夜間や休日もHIV抗体検査、エイズ電話相談を実施しますので、感染の不安がある方やエイズについて知りたいことがある方はぜひご利用ください。

*検査の実施状況等の詳細は各保健所へお問合せください。愛媛県エイズ予防週間の詳細は県ホームページをご確認ください→

発生動向の概況

インフルエンザの定点当たり報告数は、第45週17.71人から第46週14.13人と減少しましたが、引き続き県全体で注意報レベル（定点当たり10人以上）となっています。四国中央保健所、西条保健所で警報レベル（定点当たり30人以上、以降10人以上で継続）、松山市保健所、中予保健所、八幡浜保健所で注意報レベルです。型別が判明した症例は99.7%がA型でした。幼稚園、学校等の集団生活やイベント等を通じた感染拡大が懸念されるため、咳エチケットや外出後の手洗いなどを心がけましょう。またワクチンには重症化を防ぐ効果がありますので、接種希望の方は早めに受けましょう。

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の届出が第46週に1例（今治保健所管内在住）、**日本紅斑熱**の届出が第45週に2例（松山市保健所、宇和島保健所管内在住）、第46週に1例（宇和島保健所管内在住）ありました。2026年は現在までにSFTSが12例、日本紅斑熱が24例の届出があり、どちらも調査開始以降最多となりました。マダニが媒介する感染症ですので、野山や畑、草むらなどでの活動後は、衣類や体にマダニがついていないか確認し、咬まれていた場合は無理にマダニを引き抜かずに医療機関（皮膚科等）を受診し処置してもらいましょう。活動後、数週間以内に発熱や倦怠感などの症状が出た場合は、速やかに医療機関を受診してください。

県内での感染症発生状況

■ 全数把握感染症

※医療機関からの届出数を集計したもので、集計日以降の報告は次回以降に反映されます。

二類感染症 ： 結核　8例
三類感染症 ： 腸管出血性大腸菌感染症　1例（O142：60歳代女性）
四類感染症 ： 重症熱性血小板減少症候群　1例（40歳代男性）
日本紅斑熱　3例（20歳代男性、70歳代男性、50歳代女性）
五類感染症 ： アメーバ赤痢　1例（50歳代男性）　急性脳炎　2例（10歳未満男性、40歳代女性）
梅毒　3例（50歳代男性、60歳代男性、20歳代女性　2026年県内累計103例）
百日咳　1例（40歳代女性）

*その他、梅毒の届出が第44週に1例、百日咳の届出が第44週に1例ありました。

■ 定点把握感染症

（数字は最新週の定点当たり報告数）

疾病名	愛媛県推移		県内の傾向
インフルエンザ	↘	14.13	引き続き県全体で注意報レベル。四国中央、西条保健所で警報レベル、松山市、中予、八幡浜保健所で注意報レベル。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗	5.05	松山市保健所で多発、中予保健所で多い。
感染性胃腸炎	↗	4.71	四国中央保健所で急増、今治、松山市保健所で増加。

■ 解析評価委員のコメントから

インフルエンザ　：［東予］やや減少したが、まだ流行しています。
［中予］第45週が増加し第46週は減少傾向となったものの多いです。
［南予］第45週も非常に多くの症例が報告されていましたが、第46週はさらに倍近い症例数です。

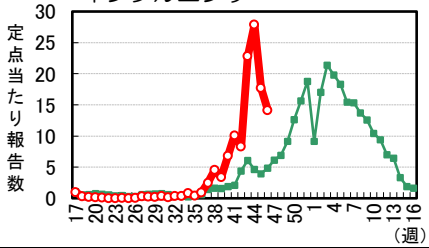
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎　：［東予］たまにみられます。　［中予］横ばいです。　［南予］少数例報告されていますが減少傾向です。

感染性胃腸炎　：［東予］少しみられてきています。　［中予］やや増加しています。
［南予］多くの症例が報告されていますが減少傾向です。

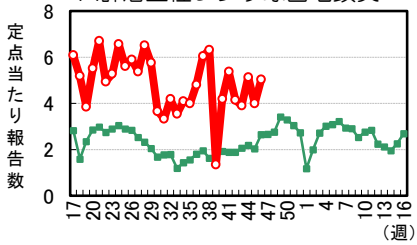
■ 過去30週の動向

（―○―：過去30週の動向　―●―：過去10年の平均）

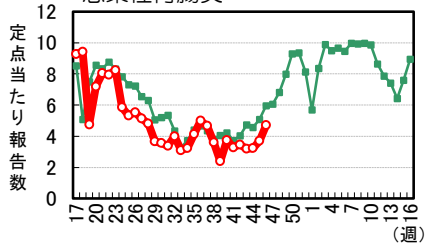
インフルエンザ



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染性胃腸炎



（注）本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所単位での集計で、患者の住所によるものではありません。
感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.lg.jp までお願い致します。

病 原 体 検 出 情 報

2026 年 11 月 17 日現在

■ 過去 5 週　検出病原体

（2026 年 10 月 12 日以降採取検体）

○　過去 5 週で新たに定点把握対象疾患に係る病原体は検出されませんでした。

■ 月別病原体検出結果

検出病原体＼検体採取月		6	7	8	9	10	11	合計
ウイルス	エンテロ 71			1	1			2
	コクサッキー A6	4	4	1				9
	コクサッキー A10					1		1
	コクサッキー A16			1				1
	ライノ		2	1	1			4
ウイルス 計		4	6	4	2	1		17

■ 臨床診断別検出結果（2026 年 6 月以降採取検体）

検出病原体＼臨床診断名	手足口病	合計
エンテロ 71	2	2
コクサッキー A6	9	9
コクサッキー A10	1	1
コクサッキー A16	1	1
ライノ	4	4
ウイルス 計	17	17

■ ARI 病原体定点　月別病原体検出結果

○　11 月に採取された患者検体からインフルエンザウイルス AH1pdm09 型が 3 例、ライノ/エンテロウイルスが 3 例検出されました。

検出病原体＼検体採取月		2025		2026										
		11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
検査項目	インフルAH1pdm09									1	1	3	11	3
	インフルAH3	20	20	13	2								1	
	インフルB(ビクトリア)			7	20	8	1							
	新型コロナ	12	4	1	3	2	1		6	6	2		3	
	RS A	2	1							1				
	RS B	1	1	1		2							1	
	パラインフルエンザ	2		1						2	1	1		
	ヒトメタニューモ	1			2			1	4	3	2	1	1	
	ライノ/エンテロ	15	3	4	1	4	2	2	4	2		2	5	3
	アデノ		1	1								2	1	
検出なし		10	16	14	18	14	16	5	8	3	8	11	11	
検査検体数		56	43	40	46	30	20	8	19	17	14	20	29	6

※表中の検出結果は 1 検体からの重複感染を含みます。

愛媛県 定点把握五類感染症　　2026年　第 46 週 (2026.11.9～11.15)

■患者報告数

		ARI定点					小児科定点											
		急性呼吸器感染症[1]	インフルエンザ[2]	*迅速検査A型	*迅速検査B型	新型コロナウイルス感染症[3]	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎		
保健所別	四国中央	178	61	55						20							四国中央	保健所別
	西条	505	103	102		2	3		8	23		2		1			西条	
	今治	287	30	29		6	7		6	8			1	3	1		今治	
	松山市	1292	176	130		8	2	3	77	36	2			4	3		松山市	
	中予	438	50	43			2		13	1	1	1			3		中予	
	八幡浜	429	80	75		1		1	1	11					3		八幡浜	
	宇和島	197	37	33		1			1								宇和島	
週推移	愛媛県	3326	537	467		18	14	4	106	99	3	3	1	8	10		愛媛県	週推移
	1週前	3056	673	580	3	30	15	4	84	78	4	4		5	12		1週前	
	2週前	3346	1060	949		26	28	5	108	68	4	4		12	21		2週前	
	3週前	3118	867	791		25	11	3	82	67	6	8		10	12	1	3週前	
年齢別(ARI定点疾患)	0-5ヶ月	166	1				2										0-5ヶ月	年齢別(小児科定点疾患)
	6-11ヶ月		5	2			1		1	5				2			6-11ヶ月	
	1	1277	14	11			6	1	3	18		1		6	5		1	
	2		20	18		1	3	1	6	15		1			2		2	
	3		16	15			1	2	8	12		1					3	
	4		22	20		1			11	12	1		1		2		4	
	5	811	24	19					10	5	1						5	
	6		28	26					8	10							6	
	7		30	26		1			6	2							7	
	8		41	38					10	4							8	
	9		47	43			1		9	2							9	
	10-14	444	134	118		2			22	8	1				1		10-14	
	15-19	121	31	26		3			6	3							15-19	
	20-29	54	17	14		1			6	3							20-	
	30-39	83	30	24														
	40-49	72	23	18		1												
	50-59	81	28	25		2												
	60-69	65	9	8		4												
	70-79	92	12	11		1												
	80-	60	5	5		1												

■定点当たり報告数

保健所別	四国中央	44.50	15.25	−	−					10.00							四国中央	保健所別
	西条	84.17	17.17	−	−	0.33	0.75		2.00	5.75		0.50		0.25			西条	
	今治	71.75	7.50	−	−	1.50	3.50		3.00	4.00			0.50	1.50	0.50		今治	
	松山市	107.67	14.67	−	−	0.67	0.29	0.43	11.00	5.14	0.29			0.57	0.43		松山市	
	中予	109.50	12.50	−	−		1.00		6.50	0.50	0.50	0.50			1.50		中予	
	八幡浜	107.25	20.00	−	−	0.25		0.50	0.50	5.50					1.50		八幡浜	
	宇和島	49.25	9.25	−	−	0.25			0.50								宇和島	
愛媛県		87.53	14.13	−	−	0.47	0.67	0.19	5.05	4.71	0.14	0.14	0.05	0.38	0.48		愛媛県	

1) 症例定義(咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例)に一致し、急性呼吸器感染症と診断された患者。
(インフルエンザ、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、クラミジア肺炎、新型コロナウイルス感染症、百日咳、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ肺炎等を含む。)

2) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

3) 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)であるものに限る。

*インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計しており、重複感染の場合はA型・B型両方に計上しています。

(参考) 保健所別定点数

定点数	愛媛県	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島
ARI定点	38	4	6	4	12	4	4	4
小児科定点	21	2	4	2	7	2	2	2

注)表中の報告数は11月18日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県感染症情報センター

愛媛県 定点把握五類感染症 2026年　　第 46 週 （2026.11.9～11.15）

■患者報告数

		眼科定点		基幹定点									
		急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	ロタウイルス胃腸炎[1]	細菌性髄膜炎[2]	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎[3]	インフルエンザ（入院）[4]	新型コロナウイルス感染症（入院）[5]		
保健所別	四国中央	－	－						3		四国中央	保健所別
	西　条		1						2		西　条	
	今　治		1						2		今　治	
	松山市		5	－	－	－	－	－	－	－	松山市	
	中　予										中　予	
	八幡浜								3		八幡浜	
	宇和島		1		1				3		宇和島	
週推移	愛媛県		8		1				13		愛媛県	週推移
	1週前		5				2		16	7	1週前	
	2週前		2		1				16	1	2週前	
	3週前		3				1		10	2	3週前	
年齢別（眼科定点疾患）	0-5ヶ月				1						0	年齢別（基幹定点疾患）
	6-11ヶ月										1-4	
	1										5-9	
	2								3		10-14	
	3										15-19	
	4										20-24	
	5										25-29	
	6										30-34	
	7										35-39	
	8								1		40-44	
	9										45-49	
	10-14										50-54	
	15-19										55-59	
	20-29		1								60-64	
	30-39										65-69	
	40-49		5						9		70-	
	50-59		1									
	60-69		1									
	70-											

■定点当たり報告数

保健所別	四国中央	－	－						3.00		四国中央	保健所別
	西　条		1.00						2.00		西　条	
	今　治		1.00						2.00		今　治	
	松山市		1.67	－	－	－	－	－	－	－	松山市	
	中　予										中　予	
	八幡浜								3.00		八幡浜	
	宇和島		1.00		1.00				3.00		宇和島	
愛媛県			1.00		0.17				2.17		愛媛県	

1) 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）。
2) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。
3) オウム病を除く。
4) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。
5) 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。

（参考）保健所別定点数

定点数	愛媛県	四国中央	西　条	今　治	松山市	中　予	八幡浜	宇和島
眼科定点	8	－	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	－	1	1	1

注）表中の報告数は11月18日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症　　2026年　第 45 週 (2026.11.2～11.8)

■患者報告数

		ARI定点					小児科定点											
		急性呼吸器感染症[1]	インフルエンザ[2]	*迅速検査A型	*迅速検査B型	新型コロナウイルス感染症[3]	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎		
保健所別	四国中央	219	129	105	1				1	9							四国中央	保健所別
	西条	496	142	138		1	2		3	23		2					西条	
	今治	252	58	55		7	8		4	4				3	2		今治	
	松山市	1302	247	197	1	21	1	4	69	23	4	1		2	5		松山市	
	中予	305	35	31			4		2	1					1		中予	
	八幡浜	317	32	31		1			3	18		1			4		八幡浜	
	宇和島	165	30	23	1				2								宇和島	
週推移	愛媛県	3056	673	580	3	30	15	4	84	78	4	4		5	12		愛媛県	週推移
	1週前	3346	1060	949		26	28	5	108	68	4	4		12	21		1週前	
	2週前	3118	867	791		25	11	3	82	67	6	8		10	12	1	2週前	
	3週前	2387	299	261	2	19	16	9	79	66	7	11		10	16	3	3週前	
年齢別（ARI定点疾患）	0-5ヶ月	171	2	1					2	2							0-5ヶ月	年齢別（小児科定点疾患）
	6-11ヶ月		8	7			1			4					1		6-11ヶ月	
	1	1104	31	25			7	1	4	11		1		3	2		1	
	2		27	22	1	1	3		2	9		2		1	2		2	
	3		29	20			1	2	9	8					1		3	
	4		51	42			2	1	5	8					4		4	
	5	779	36	31					7	5	1	1		1	2		5	
	6		56	48	1		1		3	5	1						6	
	7		28	23					7	6							7	
	8		36	32	1				8	4	1						8	
	9		37	33					5	2							9	
	10-14	385	119	103		6			17	8	1						10-14	
	15-19	110	37	35		3			10	4							15-19	
	20-29	60	24	22		1			5	2							20-	
	30-39	78	36	31		3												
	40-49	70	42	34		3												
	50-59	86	25	24		4												
	60-69	68	26	24		2												
	70-79	81	19	19		2												
	80-	64	4	4		5												

■定点当たり報告数

保健所別	四国中央	54.75	32.25	−	−				0.50	4.50							四国中央	保健所別
	西条	82.67	23.67	−	−	0.17	0.50		0.75	5.75		0.50					西条	
	今治	63.00	14.50	−	−	1.75	4.00		2.00	2.00				1.50	1.00		今治	
	松山市	108.50	20.58	−	−	1.75	0.14	0.57	9.86	3.29	0.57	0.14		0.29	0.71		松山市	
	中予	76.25	8.75	−	−		2.00		1.00	0.50					0.50		中予	
	八幡浜	79.25	8.00	−	−	0.25			1.50	9.00		0.50			2.00		八幡浜	
	宇和島	41.25	7.50	−	−				1.00								宇和島	
愛媛県		80.42	17.71	−	−	0.79	0.71	0.19	4.00	3.71	0.19	0.19		0.24	0.57		愛媛県	

1) 症例定義（咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例）に一致し、急性呼吸器感染症と診断された患者。
（インフルエンザ、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、クラミジア肺炎、新型コロナウイルス感染症、百日咳、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ肺炎等を含む。）

2) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

3) 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。

*インフルエンザ患者のうち、迅速検査の結果が報告されたもののみ集計しており、重複感染の場合はA型・B型両方に計上しています。

（参考）保健所別定点数

定点数	愛媛県	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島
ARI定点	38	4	6	4	12	4	4	4
小児科定点	21	2	4	2	7	2	2	2

注）表中の報告数は11月11日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県感染症情報センター

愛媛県 定点把握五類感染症 2026年　　第 45 週 （2026.11.2～11.8）

■患者報告数

		眼科定点		基幹定点									
		急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	ロタウイルス胃腸炎[1]	細菌性髄膜炎[2]	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎[3]	インフルエンザ（入院）[4]	新型コロナウイルス感染症（入院）[5]		
保健所別	四国中央	－	－						5		四国中央	保健所別
	西条								4		西条	
	今治		1				1		6	1	今治	
	松山市		4	－	－	－	－	－	－	－	松山市	
	中予										中予	
	八幡浜								1	6	八幡浜	
	宇和島						1				宇和島	
週推移	愛媛県		5				2		16	7	愛媛県	週推移
	1週前		2		1				16	1	1週前	
	2週前		3				1		10	2	2週前	
	3週前		3			1			4	1	3週前	
年齢別（眼科定点疾患）	0-5ヶ月						1		1		0	年齢別（基幹定点疾患）
	6-11ヶ月								1		1-4	
	1						1		3		5-9	
	2								1		10-14	
	3										15-19	
	4										20-24	
	5										25-29	
	6										30-34	
	7										35-39	
	8										40-44	
	9										45-49	
	10-14										50-54	
	15-19									2	55-59	
	20-29		1						1		60-64	
	30-39								1	1	65-69	
	40-49		2						8	4	70-	
	50-59		1									
	60-69		1									
	70-											

■定点当たり報告数

保健所別	四国中央	－	－						5.00		四国中央	保健所別
	西条								4.00		西条	
	今治		1.00				1.00		6.00	1.00	今治	
	松山市		1.33	－	－	－	－	－	－	－	松山市	
	中予										中予	
	八幡浜								1.00	6.00	八幡浜	
	宇和島						1.00				宇和島	
愛媛県			0.63				0.33		2.67	1.17	愛媛県	

1) 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）。
2) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。
3) オウム病を除く。
4) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。
5) 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。

（参考）保健所別定点数

定点数	愛媛県	四国中央	西条	今治	松山市	中予	八幡浜	宇和島
眼科定点	8	－	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	－	1	1	1

注）表中の報告数は11月11日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県感染症情報センター

愛媛県　全数把握感染症　2026年第45、46週 （2026.11.2～11.15）

| 類型 | | 二類 | 三類感染症 | | | | | 四類感染症 | | | | |

全国　定点把握感染症　2026年 第44、45週 （2026.10.26～11.8）

（定点当たり報告数）

		ARI定点			小児科定点										眼科定点		基幹定点				
		急性呼吸器感染症[1]	インフルエンザ[2]	新型コロナウイルス感染症[3]	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	ロタウイルス胃腸炎[4]	細菌性髄膜炎[5]	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎[6]
44週	愛媛県	88.05	27.89	.68	1.33	.24	5.14	3.24	.19	.19		.57	1.00			.29		.17			
	近県 香川県	46.96	4.91	.48	1.85	.15	.85	1.92				.46	1.00			.40		.20		1.20	
	近県 徳島県	33.00	4.48	.42	.62	.10	.76	2.43	.05	.05	.24	.38	1.05							.29	
	近県 高知県	48.49	7.23	.51	.52	.05	1.48	1.67	.05	.14	.10	.05	.90							.13	
	全国	61.00	10.26	.80	1.24	.20	1.41	3.25	.19	.58	.02	.26	.68	.03	.01	.50		.02	.05	.56	.01
	北海道	67.45	21.90	2.52	1.28	.39	3.38	1.65	.16	.40	.02	.08	.05	.02		.34				.65	.04
	東北	75.71	15.27	1.07	1.13	.13	1.38	2.04	.27	.40		.31	.53	.03		.17			.05	.50	.02
	関東	70.44	9.87	.99	1.01	.14	1.21	3.46	.21	.61	.02	.25	.73	.03	.01	.42		.01	.06	1.00	.01
	甲信越北陸	63.24	10.19	.86	1.09	.15	1.46	3.38	.11	1.85	.04	.25	1.04	.04		.22			.04	.51	
	東海	55.41	9.05	.53	1.38	.11	.95	2.94	.14	.47	.01	.24	1.07	.03		.23		.08	.08	1.13	
	近畿	44.35	7.53	.51	1.65	.25	1.10	3.14	.17	.53	.02	.23	.49	.04	.02	.30		.05	.05	.33	.02
	中国四国	54.87	9.12	.54	1.51	.28	2.05	3.33	.13	.18	.04	.29	.57	.02	.03	.34		.03	.03	.47	
	九州沖縄	57.83	10.05	.38	1.02	.32	1.48	4.29	.30	.45	.02	.35	.72	.02		1.99			.06	.15	

（11月4日集計）

45週	愛媛県	80.42	17.71	.79	.71	.19	4.00	3.71	.19	.19		.24	.57			.63				.33	
	近県 香川県	40.30	3.96	.17	1.15		.54	1.92	.08			.23	1.00					.20		2.00	
	近県 徳島県	34.67	4.82	.33	.62	.14	1.57	2.95	.14	.05	.33	.19	1.05	.10						.14	
	近県 高知県	46.15	5.67	.38	.10	.05	1.05	1.05		.14		.33	1.57					.13			
	全国	64.07	11.00	.76	1.14	.18	1.32	3.14	.19	.53	.03	.21	.51	.03	.00	.48	.01	.02	.04	.49	.00
	北海道	67.65	28.32	2.61	1.32	.45	2.92	2.11	.20	.40	.02	.06	.07	.03		.38				.22	
	東北	78.51	19.21	1.22	.96	.10	1.18	1.94	.24	.18	.01	.26	.38	.04		.27	.03	.02	.03	.42	
	関東	74.34	10.49	.87	.86	.08	1.15	3.30	.15	.52	.03	.17	.46	.03	.00	.43		.01	.03	.92	
	甲信越北陸	66.27	12.28	.93	1.19	.20	1.19	3.41	.17	1.78	.01	.15	1.02			.33	.04		.02	.61	
	東海	60.18	9.01	.51	1.39	.14	1.13	2.99	.26	.46	.02	.25	.55	.01		.15		.03	.03	.74	
	近畿	47.93	7.71	.46	1.70	.24	1.03	2.74	.18	.61	.02	.17	.44	.02	.02	.34		.05	.10	.38	.02
	中国四国	56.68	8.19	.46	1.25	.20	2.13	3.18	.18	.13	.05	.22	.58	.03		.50	.01	.03	.03	.47	
	九州沖縄	58.53	9.17	.29	.75	.29	1.31	4.34	.24	.35	.03	.36	.54	.05		1.54	.02	.01	.04	.11	

（11月11日集計）

1) 症例定義（咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例）に一致し、急性呼吸器感染症と診断された患者。（インフルエンザ、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、クラミジア肺炎、新型コロナウイルス感染症、百日咳、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ肺炎等を含む。）

2) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く.　　3) 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る.

4) 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）.　　5) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除 6) オウム病を除く.

全国　全数把握感染症　2026年 第44、45週 （2026.10.26～11.8）

| 類型 | | | 二類 | 三類感染症 | | | | | 四類感染症 | | | | |